



吉原 千恵子



建築設計製図 I
第3課題：A
マキシムハウス

2年1組

担当：
野村 欽
若色 峰郎
小川 守之
小松 清路
杉 千春
田島 夏樹
田中 雅美
22

吉原 千恵子

この作品のテーマである「光」は立地条件からきている。人が快適に暮らすためには光が必要である。より多くの光を取り入れるにはと考えると思いついたのが南向き全面ガラスだ。しかし、これはプライバシーや窓からの景色の問題を生んだ。そこで思いついたのがGreen Curtainである。これは緑の少ない住宅地に緑のある景観を提供する。光に変化をつけることで空間に様々な表情を与えることがで

きた。

指導＝野村 欽

限られた狭い敷地面積、しかも両側からは採光も期待できない縦に細長い敷地条件の中で、よりよい「光」を求めするために果敢に挑戦して、……できあがった作品といえよう。無味乾燥、殺伐とした都市空間の中で、緑の葉々の間から漏れ出る自然からの恵みの光を感じたい、そんな贅沢な欲望をこの作品はうまく解決した。

南面を斜めにカットして採光面を大きくした大ガラス面の外側に、ポールを建て、緑を絡ませる（残念ながら図面にはうまく表現されていない）大胆なアイデア。大胆さはそこにとどまら

ない。ガラス面に沿って作り出された三角形の平面部分に階段を配置した。当然階段には明るい日差しが燦々とそそぎ込む。さらに、奥の居室まで光が入り込むことを作者は期待している。また、階段の中央には吹き抜け部分があり、そこから取り入れられた光は、地下に設置した洗面・浴室のトップライトとして活かされている。また、もう一つの中庭は最上階と2階に設けられ、その光は1階玄関入り口の部分に入り込み、奥深い玄関にありがちな陰鬱さを巧みに救っている。全般的に見て、質の高い作品と思うが、考えている内容が十分に図面上に表現され切れていないのが残念である。